

県民の政治意識 第24回モニター調査 報告書

(2007年2月5日～14日調査)

I	調査の設計	1
II	結果の概要	3
III	今回のポイント	8
IV	単純集計	12
V	調査票	15



社団法人 長野県世論調査協会

Tel 026-233-3616 Fax 026-233-3610

<http://www.nagano-yoron.or.jp>

I 調査の設計

◆調査の目的

県民の政治意識～第24回モニター調査は、昨年9月に戦後生まれとして初めて政権の座に就いた安倍晋三首相に対する第1回の調査となる。

任期満了で退任した小泉純一郎内閣を継承して間もなく半年。発足直後に中国、韓国を訪問し、冷え切った近隣外交の立て直しに努め、内政面では教育基本法の改正、防衛省への格上げなど「戦後レジームからの脱却」をめざす長期政権への実績づくりを進めた。

ところが、郵政民営化反対派の自民党復党、足元の閣僚の政治資金をめぐる疑惑や「産む機械」など相次ぐ問題発言で、急速に世論の期待感がしばみ、首相のリーダーシップが問われ始めた。「美しい国づくり」を掲げる安倍首相の政治志向と、景気回復の恩恵が反映されない格差拡大にいらだつ世論とのすれ違いが表面化した。

政治のみならず、外交、経済、教育などさまざまな分野の枠組みが大きく揺らぎ、次へのステップが見定めがたいなかで、安倍首相が憲法見直しの是非を争点にしようという夏の参院選や、知事交代から半年の県政の動向をにらみながら、県民世論がどのように政治や社会の動きを見守っているのかを探る。

◆調査の設計

▽調査方法 当協会の登録モニターに事前に調査票を郵送し、回答は郵送、ファクス、電話聞き取り、インターネットを併用して回収。

【モニター～継続的な調査対象者】

1995年6月の参院選直前、県下の満20歳以上の1000人を対象に、政治意識調査を実施。その際、追跡調査に協力できるという人たち678人を対象に、選挙直後の同年7月に「参院選の投票行動」調査を行った。

これを「第1回モニター調査」と位置付け、1996年2月に男女別、年代別、選挙区別などの比率が“県下の有権者の縮図”となるように対象者を選定して第2回調査を行い、それ以降は半年間隔で年2回ずつ、定期的に続行している。この間、モニターは若干の補正を重ね、登録数は500人を維持している。

▽調査時期 2007年2月5日調査票発送～14日回収締め切り

▽有効回収数(率) 487人(回収率97.4%=男性244人 女性243人)

▽回収内訳

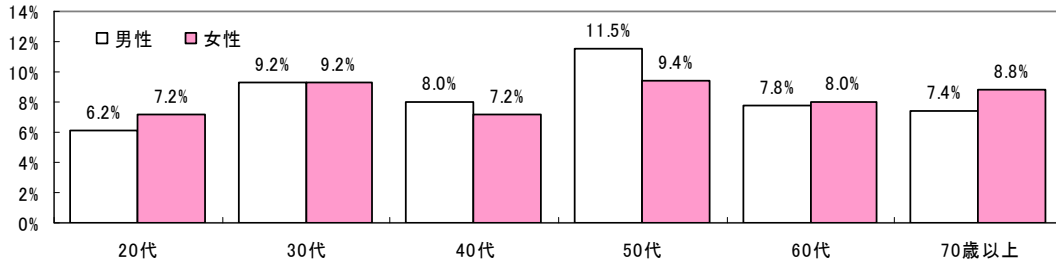
郵送	246 (50.5%)	ファクス	112 (23.0%)
電話聞き取り	76 (15.6%)	インターネット	53 (10.9%)

<注>報告書のパーセント数字は小数点第2位を四捨五入。合計が100にならない場合がある。

回収サンプルの内訳

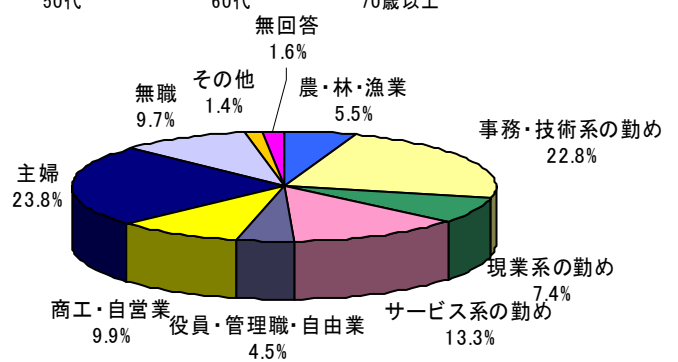
【性別と年代】

	合計	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上
全体	487	65	90	74	102	77	79
	100.0%	13.3%	18.5%	15.2%	20.9%	15.8%	16.2%
男性	244	30	45	39	56	38	36
	50.1%	6.2%	9.2%	8.0%	11.5%	7.8%	7.4%
女性	243	35	45	35	46	39	43
	49.9%	7.2%	9.2%	7.2%	9.4%	8.0%	8.8%



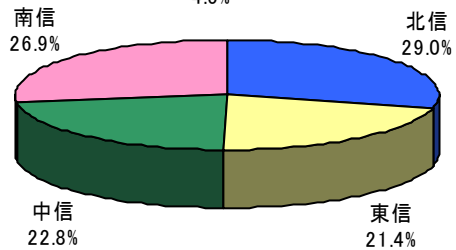
【職業】

農・林・漁業	27	5.5%
事務・技術系の勤め	111	22.8%
現業系の勤め	36	7.4%
サービス系の勤め	65	13.3%
役員・管理職・自由業	22	4.5%
商工・自営業	48	9.9%
主婦	116	23.8%
無職	47	9.7%
その他	7	1.4%
無回答	8	1.6%



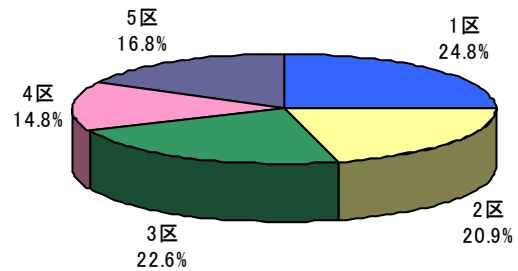
【地域】

北信	141	29.0%
東信	104	21.4%
中信	111	22.8%
南信	131	26.9%



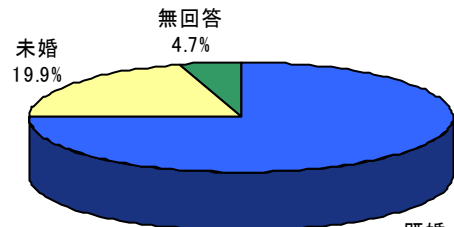
【選挙区】

1区	121	24.8%
2区	102	20.9%
3区	110	22.6%
4区	72	14.8%
5区	82	16.8%



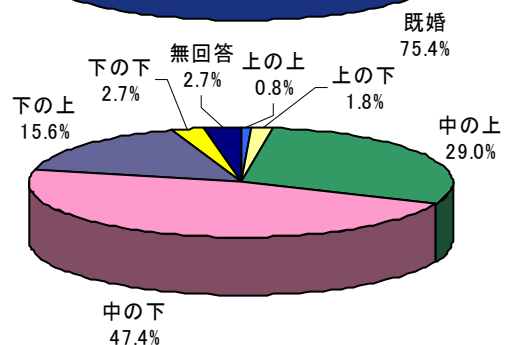
【結婚の有無】

既婚	367	75.4%
未婚	97	19.9%
無回答	23	4.7%



【暮らしぶり】

上の上	4	0.8%
上の下	9	1.8%
中の上	141	29.0%
中の下	231	47.4%
下の上	76	15.6%
下の下	13	2.7%
無回答	13	2.7%



II 結果の概要

安倍内閣と政策の評価

内閣支持率

◆支持34.3% 不支持が30ポイント余上回る

昨年9月、自民党総裁選で圧倒的な支持を受けて発足した安倍内閣に対する半年間の評価は支持が34.3%、不支持は65.3%と、30%超の大幅な差が出た。前任の小泉内閣5年半の平均支持率41.3%を大きく下回る。

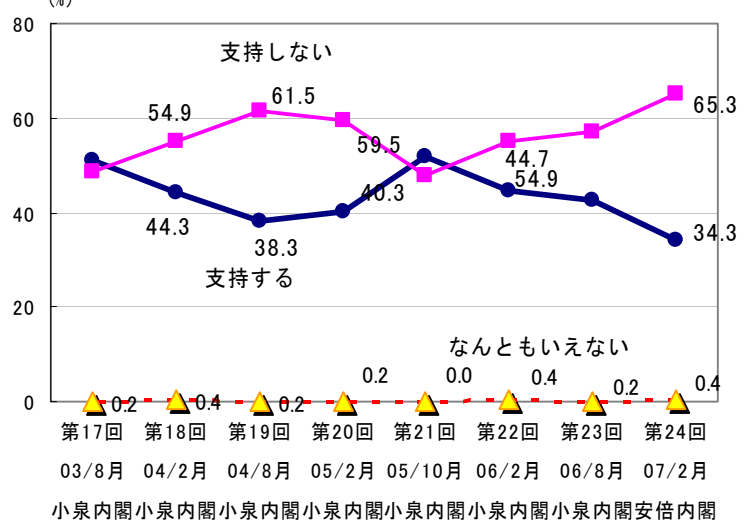
◆2区で支持40%台を確保

男女にめだつた違いはみられないが、年代層では60代で支持が40%に達し、70歳以上（以下「70代」と略記）では支持・不支持が拮抗する。逆に、20、40、50代では不支持が70%を突破する。

◆無党派層の支持20%割る

政党支持層では、自民党で76.5%の高さを示すが、民主党では逆に不支持が90%に達し、支持政党なし（無党派）層も不支持が80%と平均値を大きく上回り、支持は20%台を割り込む。選挙区別でみると、支持が2区で40.2%と最も高く、最も低い5区の31.7%との開きがめだつ。

【内閣支持率の推移】



＜歴代内閣の平均支持率＞

村山内閣	37.2%	(調査回数：1回)
橋本内閣	27.2%	(6回)
小渕内閣	17.5%	(3回)
森内閣	9.6%	(2回)
小泉内閣	41.3%	(11回)

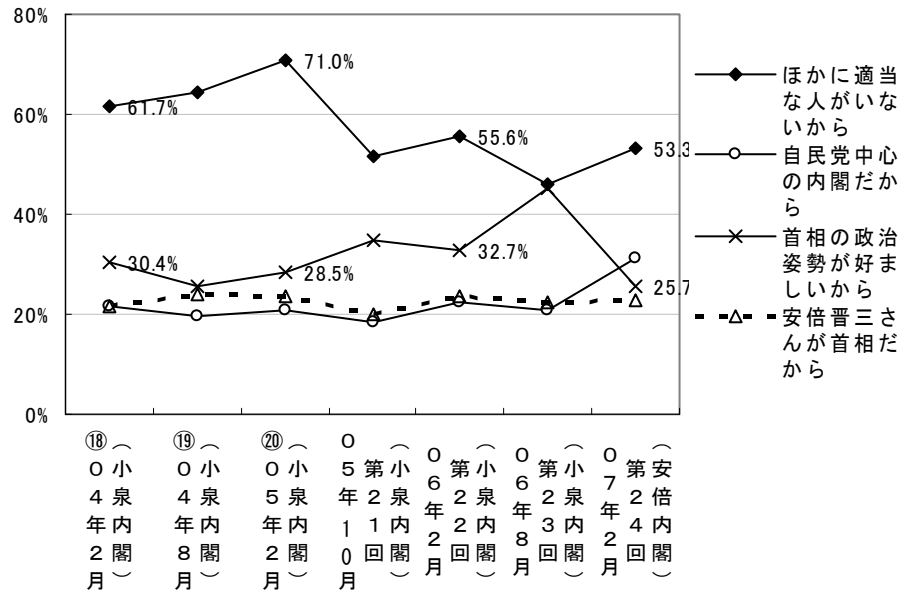
		標本数	支持する	支持しない	なんともいえない・わからない・無回答
全体		487	167	318	2
		100.0	34.3	65.3	0.4
性別	男性	244	33.6	66.4	-
	女性	243	35.0	64.2	0.8
年代	20代	65	27.7	72.3	-
	30代	90	35.6	64.4	-
	40代	74	24.3	75.7	-
	50代	102	29.4	70.6	-
	60代	77	40.3	59.7	-
	70歳以上	79	48.1	49.4	2.5
選挙区	1区	121	34.7	64.5	0.8
	2区	102	40.2	58.8	1.0
	3区	110	30.9	69.1	-
	4区	72	33.3	66.7	-
	5区	82	31.7	68.3	-
政党支持	自民党	132	76.5	23.5	-
	民主党	71	9.9	90.1	-
	支持する政党はない	220	18.6	80.5	0.9

回答の選択肢「なんともいえない」を明示しないようになった2003年8月調査（第17回）以降で、小泉内閣の支持が最低の38.3%、不支持が最高の61.5%だった2004年8月の水準よりも厳しい状況になっている。

◆支持の理由「ほかに適当な人がいない」群を抜く

安倍内閣を支持する理由は「ほかに適当な人がいないから」が小泉内閣当時に引き続きトップだが、前回の減少から増加傾向に転じ、大きく他を大きく引き離す。

前回、僅差で上位にあった「政治姿勢が好ましいから」が大きく後退し「自民党中心の内閣だから」が浮上した。「安倍晋三さんが首相だから」は4位にとどまる。



◆女性と30代「安倍首相だから」高く

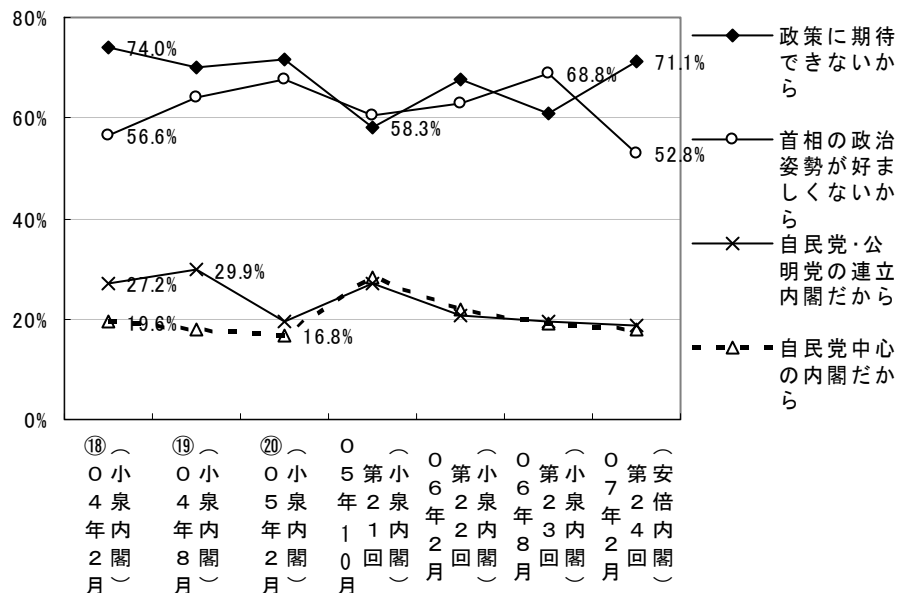
「ほかに適当な人がいない」に20代を筆頭に30代と50代、女性や高くなっている。「首相の政治姿勢」には、60代や男性で好感の要素になっている。

◆不支持の理由「政策に期待できず」が急上昇

安倍内閣を支持しない理由は「政策に期待できないから」が10ポイント超上昇してトップに上がった。

対照的に、前回トップの「首相の政治姿勢が好ましくないから」が大幅ダウンして2番目。

差が大きく開いて「自民・公明の連立内閣だから」と「自民党中心の内閣だから」が続く。



◆「政治姿勢」と「自・公連立」に中高年齢層きびしさ

「政策」には女性の否定的な感度が高く、「政治姿勢」と「自・公連立」には中高年齢層が比較的厳しくなっている。

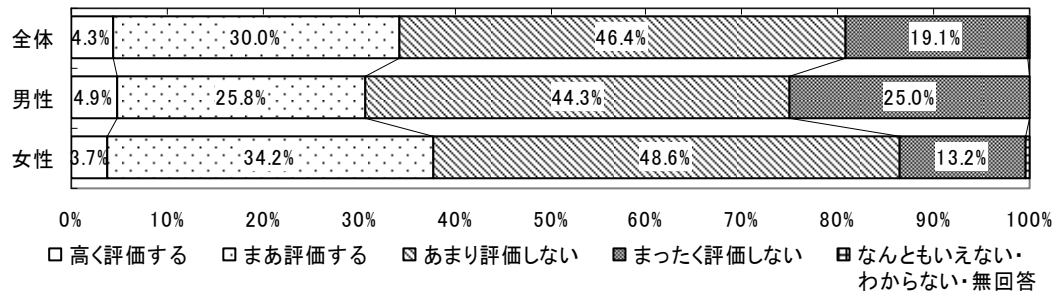
安倍首相の基本姿勢

◆「美しい国づくり」提唱を評価34%

「戦後レジームからの脱却」を掲げて教育基本法を改正、さらに憲法改正をめざすという安倍首相の基本姿勢の軸にある「美しい国づくり」に評価は34%、評価しないは66%。内閣支持の動向にほとんど合致する。

評価・非評価ともに、大半は消極的なスタンスが占めるなかで、女性の評価が高め。安倍内閣の支持層は70%が肯定的だが、不支持層では批判的な受けとめが85%にのぼる。

◆男女別では

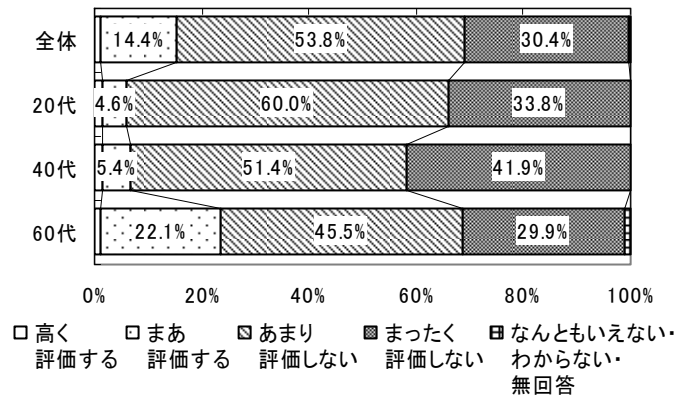


◆安倍首相の指導力「評価しない」80%を突破

政治資金の流用疑惑や「子どもを産む機械」、対米批判発言など、相次ぐ閣僚の責任問題をめぐる安倍首相の指導力について「評価する」は15%と低迷。「評価しない」が84%と、かなりの落差が際立つ。

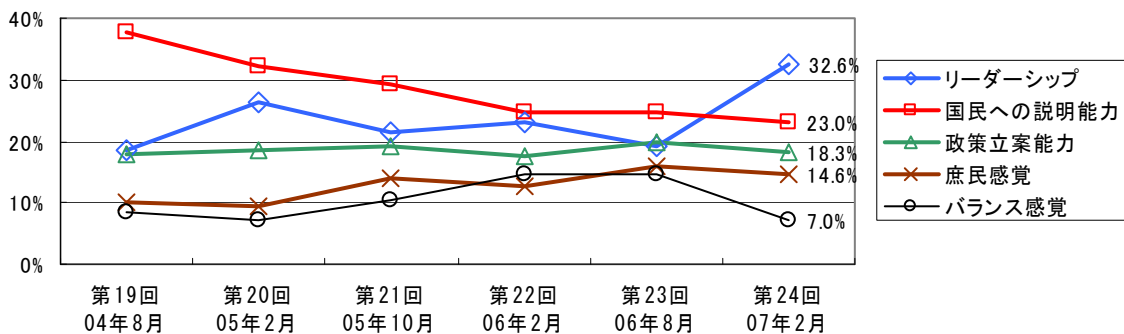
男女にめだつた違いはみられないが、年代層では20、40、50代で「評価しない」が90%台を示す。その一方で、60代以上で評価が20%を超える。

◆年代別では



◆首相の資質「リーダーシップ」急浮上

日本の首相に必要な能力・資質は「リーダーシップ」がトップ。前回3番目の19%から33%に急浮上した。「国民への説明能力」は横ばいで2番目で続き「政策立案能力」が3位。安倍内閣や自民党の支持層で「リーダーシップ」を望む度合いがぐんと高まる。



政策の評価

◆「中・韓外交」に肯定的51% 否定的46%

◆「教育基本法の改正」でも伯仲

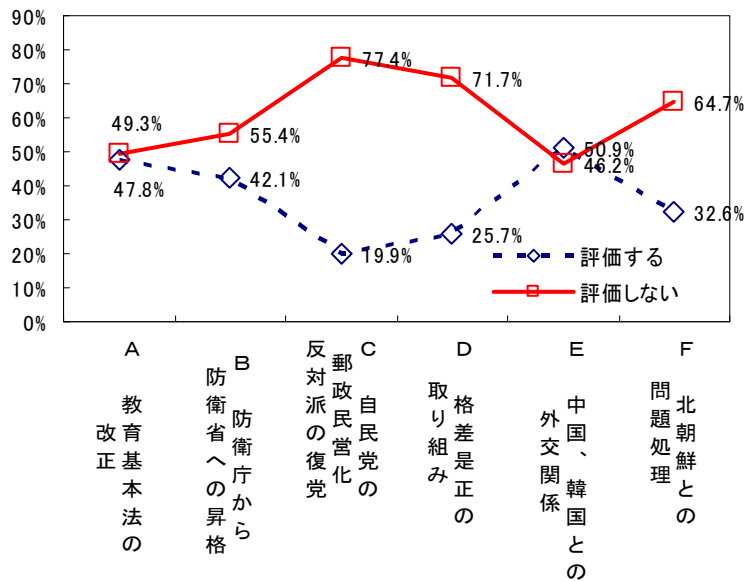
◆「郵政民営化反対派の復党」評価せずの筆頭77%

安倍内閣の内外政策を6項目挙げた中で、評価が最も高いのは「中国、韓国との外交関係」で51%と、唯一肯定的な評価が半数をクリア。次いで「教育基本法の改正」が48%にのぼるが「評価しない」が49%と伯仲する。

「防衛省への昇格」の評価が3番目に高めだが「評価しない」が55%を占める。

「郵政民営化反対派の復党」には「評価しない」が77%の最高を示す。「格差是正の取り組み」にも否定的受けとめが70%台と厳しい。

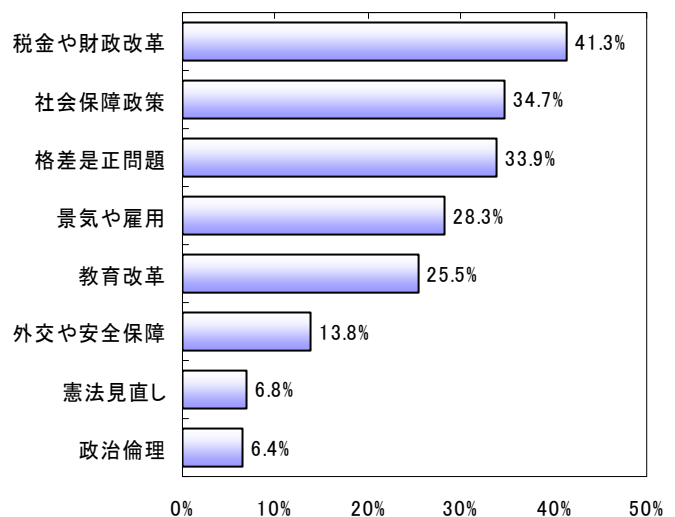
男女別では「防衛省」に男性の評価が47%と高く、女性に10ポイントの差。「格差」には女性で約30%が好意的受けとめをしている。



◆重要課題「税金・財政」トップ 「社会保障」「格差」上位に

政治に望む重要課題は「税金や財政改革」が筆頭に挙げられ「社会保障政策」と「格差是正問題」が上位に並ぶ。「政治倫理」や「憲法見直し」は低位に置かれる。

地域的な開きがめだち「税金・財政」で南信50%—東信30%、「社会保障」では中信40%—東信31%、「格差」には東信43%—中信26%といったバラツキが生じている。

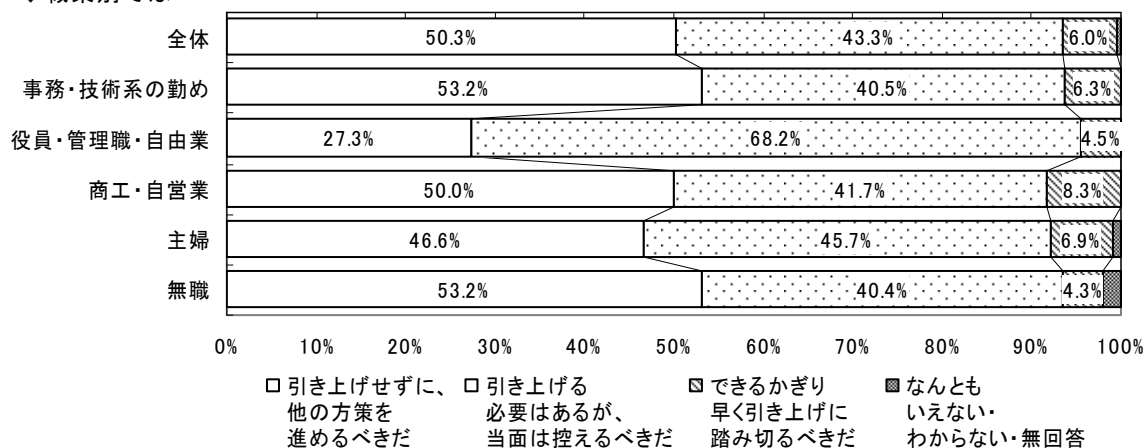


◆ 消費税引き上げ「別の方策を」半数 「当面控えるべき」43%

財政改革で今後の最大の焦点となる消費税の取り扱いについて「引き上げせずに、別の方策を進めるべき」が半数を占めた。「引き上げる必要はあるが、当面は控えるべき」が43%。「できるかぎり早く引き上げに踏み切るべき」は6%にとどまった。

若い年代層で「他の方策を」を求める割合が高く、20、30代では60%を占める。職業層では「他の方策を」が現業系を筆頭に勤め人層や無職層、商工自営で半数を超える。他方で「当面は控えるべき」は管理職層が70%近くに突出。農林業も半数を超える。

◆ 職業別では



◆ 自民支持層で「別の方策を」38% 民主党で「早めに引き上げを」10%

政党支持層でみると「他の方策を」で、自民党が38%なのに対して、民主党は45%と高め。逆に、当面の先送りで自民党55%—民主党45%と感度が逆になる。民主党では「早く引き上げを」が約10%を数え、共産党は11%（回収数が少ないため参考値）と最も高くなっている。

無党派層は「他の方策を」54%—「当面は控えるべき」42%の色分けになる。

Ⅲ 今回のポイント

政党の評価と参院選

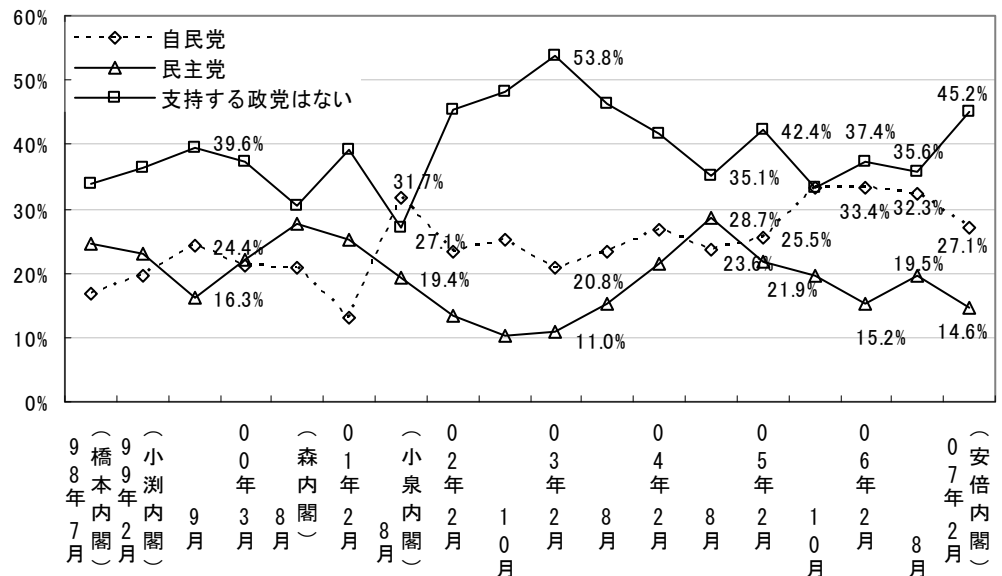
政党支持

◆自民トップ27.1% 民主14.6% 支持なし増加45.2%

「支持する政党はない」が45.2%と、前回よりも約10ポイント伸びた中で、自民党が27.1%で首位をキープしたものの5ポイント強ダウン。2位の民主党も5ポイント弱下がり14.6%。両党の開きは13ポイント弱でほぼ横ばい。大きく差が開いて3位からは3%台の僅差で公明党、共産党、社民党の順で続く。

安倍内閣の支持層は自民党が60%台を確保し、4人に1人は支持なし層。不支持層では無党派層が半数を超え、民主党は20%余にとどまる。

【政党支持の推移】



◆自民の全選挙区で4期連続トップ 民主にいぜん“女性のカベ”

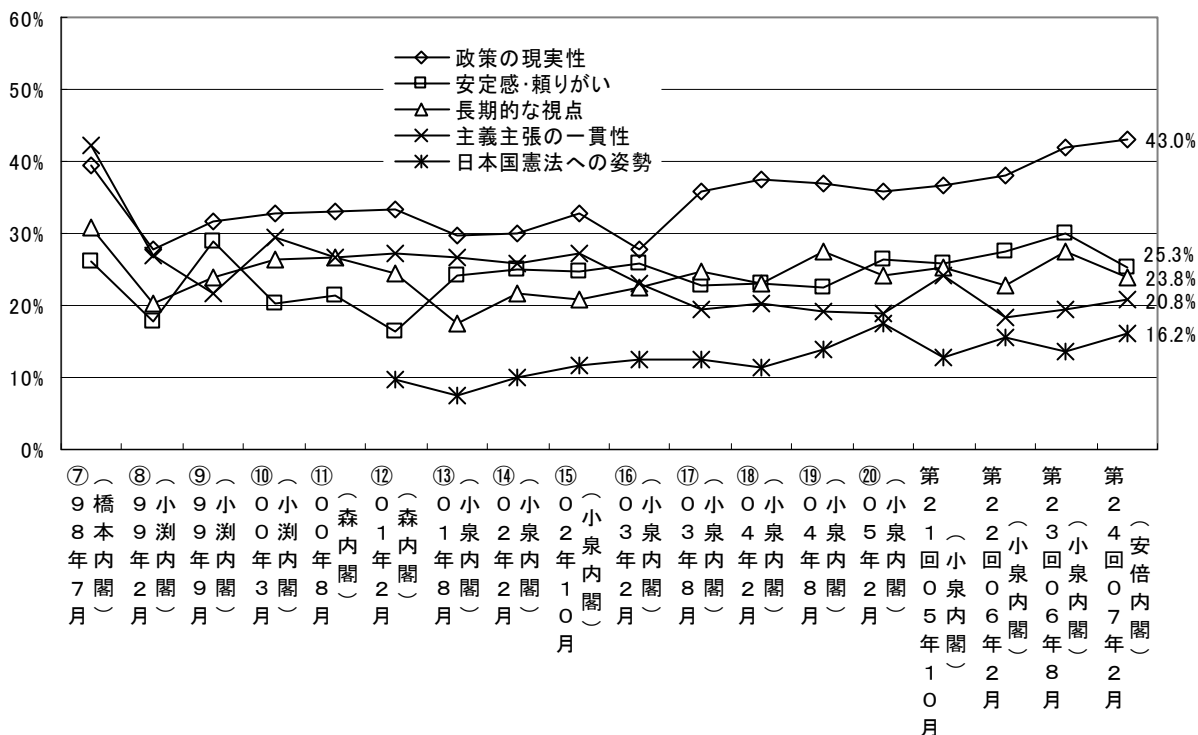
自民党が5つの全選挙区で2005年10月調査（第21回）から4期連続で優位をキープしたが、各支持率は全般に下がり最高は2区の31.4%。1区、4区では前回の30%台を割りこんだ。民主党の支持率は全選挙区で20%台に届かず、最高は3区の18.2%。4区では10%を割り込んだ。公明党が4区で6.9%、共産党は5区で7.3%、社民党が2区で4.9%と、他の選挙区よりも高さを示す。

		標本数	自民党	民主党	公明党	共産党	社民党	新党日本	国民新党	その他	なし支持政党	いえないもの
全体		487	27.1	14.6	3.9	3.7	3.5	0.8	0.4	0.4	45.2	0.4
性別	男性	244	27.0	19.7	3.7	2.9	5.3	0.4	0.8	0.4	39.3	0.4
	女性	243	27.2	9.5	4.1	4.5	1.6	1.2	-	0.4	51.0	0.4
年代	20代	65	21.5	6.2	3.1	3.1	1.5	3.1	3.1	-	58.5	-
	30代	90	25.6	10.0	1.1	2.2	2.2	1.1	-	-	56.7	1.1
	40代	74	23.0	5.4	5.4	4.1	1.4	1.4	-	1.4	58.1	-
	50代	102	20.6	22.5	6.9	3.9	2.0	-	-	1.0	42.2	1.0
	60代	77	32.5	18.2	2.6	5.2	9.1	-	-	-	32.5	-
	70歳以上	79	40.5	21.5	3.8	3.8	5.1	-	-	-	25.3	-
選挙区	1区	121	28.1	14.9	5.0	2.5	3.3	0.8	0.8	0.8	43.8	-
	2区	102	31.4	14.7	2.9	2.9	4.9	1.0	-	1.0	41.2	-
	3区	110	21.8	18.2	1.8	3.6	3.6	0.9	-	-	49.1	0.9
	4区	72	27.8	9.7	6.9	2.8	1.4	1.4	1.4	-	48.6	-
	5区	82	26.8	13.4	3.7	7.3	3.7	-	-	-	43.9	1.2

◆政党の支持理由「政策の現実性」首位動かさず

政党支持の理由は、一貫して首位を行く「政策の現実性」がさらに上昇。「安定感」「長期的な視点」「主義主張の一貫性」と続く上位は変わらない。前回4位の「党首の魅力」がダウンし「日本国憲法への姿勢」と「革新的な姿勢」がランクを上げた。

「政策の現実性」で男女の違いはみられないが「安定感・頼りがい」「主義主張の一貫性」では女性がやや高め。「長期的な視点」では男性が共感の度合いがやや高くなる。

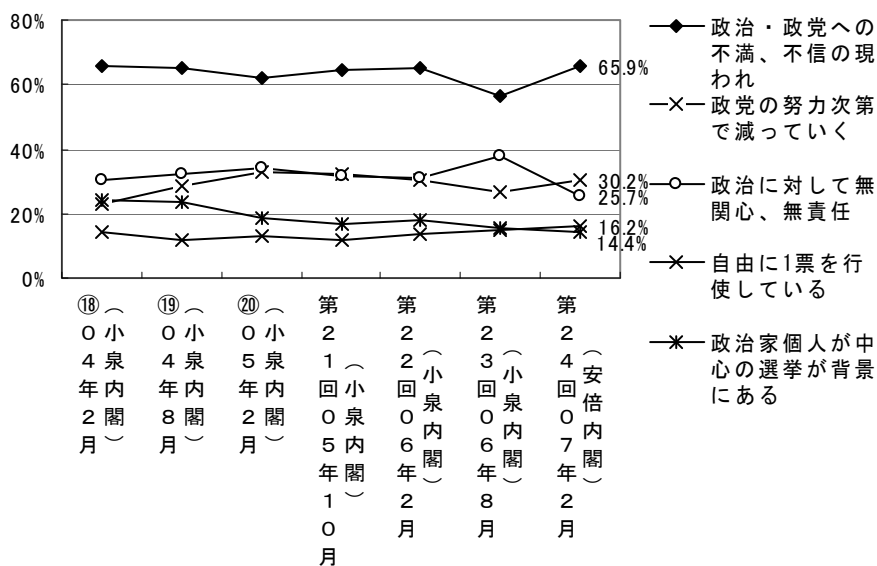


無党派層に対する見方

◆政治・政党への「不満・不信」伸び 「無関心・無責任」が後退

「政治・政党への不満・不信」が伸び、無党派層に対する肯定的な受けとめが一貫して首位を維持する一方で、否定的な受けとめの「政治に対して無関心・無責任」が3位に後退し、双方の開きは40ポイントに広がった。2位には「政党の努力次第で減っていく」が上がった。

無党派層に肯定的な感度は女性の方が高めの傾向がみられる。



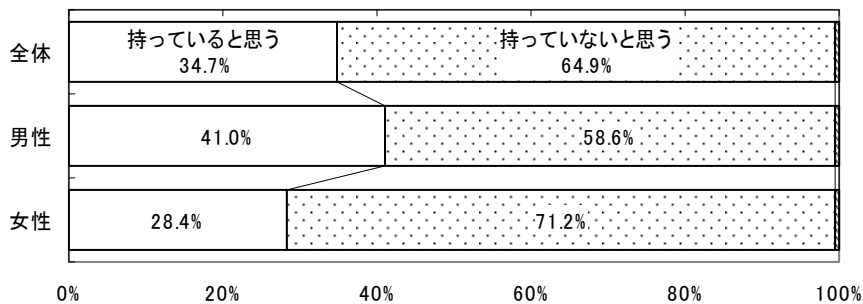
小沢民主党の評価と政界再編

◆民主党の政権能力「持っている」35%

政権獲得をめざす小沢一郎代表の民主党が政権を担当する能力を「持っている」は35%にとどまり、否定的な評価が30ポイントも上回るといった厳しい見方が鮮明だ。

男性の肯定的受けとめが40%台を示し、女性よりも12ポイント余高い。女性は「持っていない」が70%を突破する。職業層では、管理職層が「持っている」で55%と飛び抜けて高い半面、否定的な評価では農林業を筆頭に主婦層、商工自営などで約70%の高さを示す。

◆性別では



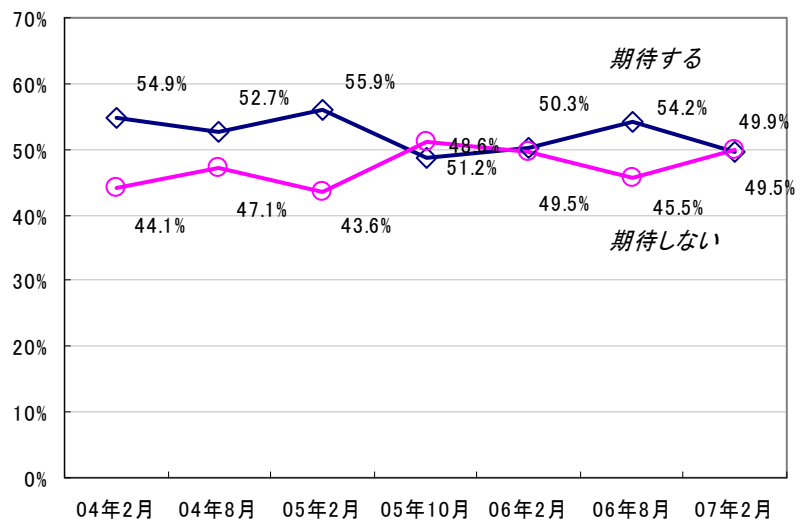
◆政界再編に「期待する」ダウン 「期待しない」と拮抗

政党・政界の再編成に「期待する」が下がり「期待しない」と全く並ぶかたちになった。

期待感は男性で57%で女性よりも十数ポイント高い。

年齢が高まるほどに期待感が高まり、60代で約60%に達する。しかし、70代では35%に急降下する。

職業層では管理職層、サービス系勤めで期待感が高いのに対して、主婦層、現業系、事務・技術系勤め人層では盛り上がりを欠く。



◆憲法見直しの是非「争点に」46% 否定的スタンスが半数超す

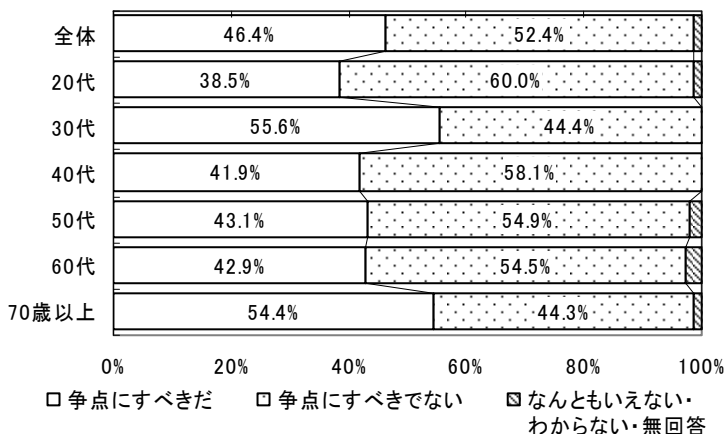
安倍首相が「憲法見直しの是非」を参院選の争点にする考えを表明したことについて、肯定的な受けとめが46%で、52%が否定的。

年代層で「争点に」が30、70代で半数を超える。しかし、否定的では20代が60%と最も高く、40～60代でも半数を超える。

職業層では、積極的な感度が農林業の63%が最高。現業系勤め人、管理職層でも高め。対照的に、事務・技術系勤め人、商工自営では慎重なスタンスが強めだ。

内閣支持層は68%が争点化に前向きだが、不支持層では逆に64%が否定的になっている。

◆年代別では



◆議席増を望むのは「民主党中心に」60% 「自民党中心」に大差

参院選で議席を伸ばしてほしいと望むのは「民主党を中心に」が60%台に到達し「自民党を中心に」を大きく引き離れた。

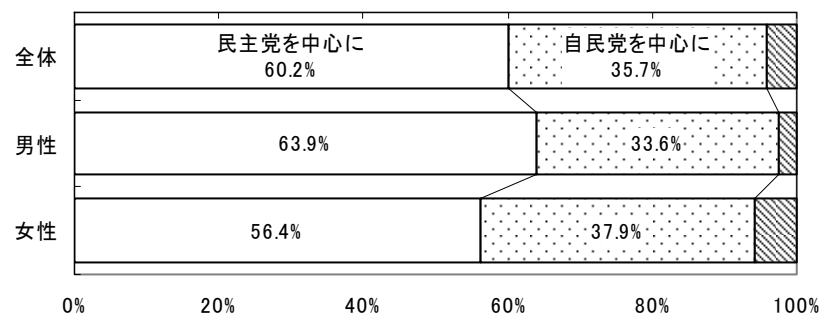
小沢民主党の政権能力の評価の低さとはうらはらに、民主党に対する期待感の高さが垣間みられる。

男性で“民主派”が64%と優勢で、女性では“自民派”が40%に迫る。無党派層では「民主党中心」が75%にのぼり、40代までの若い層が平均値を上回る。

選挙区別では3区で「民主党中心」が66%と最も高く、1区、5区でも平均値を若干上回る。「自民党中心」は4区で40%を突破し、2区でも高めになっている。

どちらかといえば支持したい政党は「民主党」が34.1%と、自民党を20ポイント以上引き離す構図は前回と変わらない。高い年代層で民主党の度合いが高くなっている。

◆性別では



IV 単純集計

問1 あなたは、今の政治に満足していますか

	全体	男性	女性
大いに満足	0.8%	1.2%	0.4%
どちらかといえば満足	13.3%	13.9%	12.8%
どちらかといえば不満足	64.3%	61.5%	67.1%
まったく不満足	21.4%	23.4%	19.3%
なんともいえない・わからない・無回答	0.2%	-	0.4%

問2 あなたは、安倍内閣を支持しますか

	全体	男性	女性
支持する	34.3%	33.6%	35.0%
支持しない	65.3%	66.4%	64.2%
なんともいえない・わからない・無回答	0.4%	-	0.8%

問3 (問2で「支持する」とお答えの方に) 支持する理由は何ですか。2つ以内で挙げてください

	全体	男性	女性
ほかに適当な人がいないから	53.3%	50.0%	56.5%
自民党中心の内閣だから	31.1%	34.1%	28.2%
首相の政治姿勢が好ましいから	25.7%	28.0%	23.5%
安倍晋三さんが首相だから	22.8%	19.5%	25.9%
政策に期待できるから	20.4%	24.4%	16.5%
自民党・公明党の連立内閣だから	19.2%	18.3%	20.0%
その他	3.0%	1.2%	4.7%
なんともいえない・わからない・無回答	-	-	-
不明	2.4%	3.7%	1.2%

問4 (問2で「支持しない」とお答えの方に) 支持しない理由は何ですか。2つ以内で挙げてください

	全体	男性	女性
政策に期待できないから	71.1%	69.1%	73.1%
首相の政治姿勢が好ましくないから	52.8%	52.5%	53.2%
自民党・公明党の連立内閣だから	18.9%	19.8%	17.9%
自民党中心の内閣だから	17.9%	16.7%	19.2%
安倍晋三さんが首相だから	11.6%	12.3%	10.9%
ほかに適当な人がいるから	3.5%	3.7%	3.2%
その他	4.4%	3.7%	5.1%
なんともいえない・わからない・無回答	0.3%	0.6%	-
不明	3.5%	5.6%	1.3%

問5 あなたは、安倍首相が掲げる「美しい国」づくりについて、どう受けとめますか

	全体	男性	女性
高く評価する	4.3%	4.9%	3.7%
まあ評価する	30.0%	25.8%	34.2%
あまり評価しない	46.4%	44.3%	48.6%
まったく評価しない	19.1%	25.0%	13.2%
なんともいえない・わからない・無回答	0.2%	-	0.4%

問6 あなたは、閣僚の発言や政治資金などをめぐる責任問題で、安倍首相の指導力について、どう受けとめますか

	全体	男性	女性
高く評価する	1.0%	1.6%	0.4%
まあ評価する	14.4%	12.3%	16.5%
あまり評価しない	53.8%	50.4%	57.2%
まったく評価しない	30.4%	35.2%	25.5%
なんともいえない・わからない・無回答	0.4%	0.4%	0.4%

問7-A 教育基本法の改正

	全体	男性	女性
評価する	47.8%	46.7%	49.0%
評価しない	49.3%	50.8%	47.7%
なんともいえない・わからない・無回答	2.9%	2.5%	3.3%

問7-B 防衛庁から防衛省への昇格

	全体	男性	女性
評価する	42.1%	46.7%	37.4%
評価しない	55.4%	51.6%	59.3%
なんともいえない・わからない・無回答	2.5%	1.6%	3.3%

問7-C 自民党の郵政民営化反対派の復党

	全体	男性	女性
評価する	19.9%	20.1%	19.8%
評価しない	77.4%	78.3%	76.5%
なんともいえない・わからない・無回答	2.7%	1.6%	3.7%

問7-D 格差是正の取り組み

	全体	男性	女性
評価する	25.7%	21.7%	29.6%
評価しない	71.7%	76.6%	66.7%
なんともいえない・わからない・無回答	2.7%	1.6%	3.7%

問7-E 中国、韓国との外交関係

	全体	男性	女性
評価する	50.9%	48.4%	53.5%
評価しない	46.2%	50.0%	42.4%
なんともいえない・わからない・無回答	2.9%	1.6%	4.1%

問7-F 北朝鮮との問題処理

	全体	男性	女性
評価する	32.6%	31.1%	34.2%
評価しない	64.7%	66.8%	62.6%
なんともいえない・わからない・無回答	2.7%	2.0%	3.3%

問8 あなたは、これから政治に力を入れてほしい重要な課題は何ですか。2つ以内で挙げてください

	全体	男性	女性
税金や財政改革	41.3%	40.2%	42.4%
社会保障政策	34.7%	33.2%	36.2%
格差是正問題	33.9%	36.5%	31.3%
景気や雇用	28.3%	30.7%	25.9%
教育改革	25.5%	19.3%	31.7%
外交や安全保障	13.8%	12.3%	15.2%
憲法見直し	6.8%	7.0%	6.6%
政治倫理	6.4%	8.6%	4.1%
その他	0.8%	0.8%	0.8%
特になし	0.6%	0.4%	0.8%
なんともいえない・わからない・無回答	0.4%	0.4%	0.4%
不明	3.1%	4.9%	1.2%

問9 あなたは、今後の消費税の取り扱いについて、どのように受けとめていますか

	全体	男性	女性
引き上げせずに、他の方策を進めるべきだ	50.3%	51.6%	49.0%
引き上げる必要はあるが、当面は控えるべきだ	43.3%	42.2%	44.4%
できるかぎり早く引き上げに踏み切るべきだ	6.0%	6.1%	5.8%
なんともいえない・わからない・無回答	0.4%	-	0.8%

問10 あなたは現在、日本の首相にはどのような能力、資質が一番必要だと思いますか

	全体	男性	女性
リーダーシップ	32.6%	32.4%	32.9%
国民への説明能力	23.0%	21.3%	24.7%
政策立案能力	18.3%	17.2%	19.3%
庶民感覚	14.6%	16.0%	13.2%
バランス感覚	7.0%	8.2%	5.8%
清潔さ	2.1%	2.0%	2.1%
人柄	1.4%	1.6%	1.2%
その他	0.6%	0.8%	0.4%
特にない	0.2%	0.4%	-
なんともいえない・わからない・無回答	0.2%	-	0.4%

問11 あなたは、どの政党を支持しますか

	全体	男性	女性
自民党	27.1%	27.0%	27.2%
民主党	14.6%	19.7%	9.5%
公明党	3.9%	3.7%	4.1%
共産党	3.7%	2.9%	4.5%
社民党	3.5%	5.3%	1.6%
新党日本	0.8%	0.4%	1.2%
国民新党	0.4%	0.8%	-
その他の政党	0.4%	0.4%	0.4%
支持する政党はない	45.2%	39.3%	51.0%
なんともいえない・わからない・無回答	0.4%	0.4%	0.4%

問12 (問11で①～⑧とお答えの方に) あなたは、支持する政党のどんな点を評価し、期待していますか。次の中から2つ以内で挙げてください

	全体	男性	女性
政策の現実性	43.0%	43.5%	42.4%
安定感・頼りがい	25.3%	23.1%	28.0%
長期的な視点	23.8%	25.2%	22.0%
主義主張の一貫性	20.8%	15.0%	28.0%
日本国憲法への姿勢	16.2%	15.6%	16.9%
革新的な姿勢	11.7%	12.2%	11.0%
党首の魅力	11.3%	10.9%	11.9%
清潔なイメージ	10.9%	10.9%	11.0%
開かれた党運営	9.4%	6.8%	12.7%
保守的な姿勢	4.5%	4.1%	5.1%
中道的な姿勢	4.2%	6.8%	0.8%
その他	3.0%	4.1%	1.7%
なんともいえない・わからない・無回答	-	-	-
不明	2.6%	4.8%	-

問13 (問11で「⑨ 支持する政党はない」とお答えの方に) あなたが、どちらかといえば親しみを感じたり、場合によっては支持・投票したい政党はありますか

	全体	男性	女性
民主党	34.1%	37.5%	31.5%
自民党	11.4%	13.5%	9.7%
共産党	5.9%	7.3%	4.8%
社民党	5.5%	5.2%	5.6%
新党日本	2.7%	3.1%	2.4%
公明党	0.9%	-	1.6%
国民新党	-	-	-

	全体	男性	女性
その他の政党	1.4%	1.0%	1.6%
そのような政党はない	38.2%	32.3%	42.7%
なんともいえない・わからない・無回答	-	-	-

問14 あなたは「支持政党なし(無党派)層」について、どのようにお考えですか。次の中から2つ以内で挙げてください

	全体	男性	女性
政治・政党への不満、不信の表れ	65.9%	63.1%	68.7%
政党の努力しだいで減っていく	30.2%	26.6%	33.7%
政治に対して無関心、無責任	25.7%	25.8%	25.5%
自由に1票を行使している	16.2%	17.6%	14.8%
政治家個人中心の選挙が背景にある	14.4%	17.6%	11.1%
棄権が多く投票率を下げの一因	10.3%	5.3%	15.2%
政治を不安定にさせている	10.1%	9.4%	10.7%
選挙での波乱要素になっている	7.8%	10.2%	5.3%
政治に関心の高い人が多い	6.2%	7.4%	4.9%
その他	0.2%	0.4%	-
なんともいえない・わからない・無回答	0.8%	0.4%	1.2%
不明	3.1%	4.9%	1.2%

問15 あなたは、今年夏の参院選で議席を伸ばしてほしいのは、自民党と民主党のどちらですか

	全体	男性	女性
民主党を中心に伸ばしてほしい	60.2%	63.9%	56.4%
自民党を中心に伸ばしてほしい	35.7%	33.6%	37.9%
なんともいえない・わからない・無回答	4.1%	2.5%	5.8%

問16 安倍首相が憲法見直しの是非を参院選の争点にする考えを表明しましたが、あなたはどうか受けとめていますか

	全体	男性	女性
争点にすべきだ	46.4%	46.3%	46.5%
争点にすべきでない	52.4%	53.7%	51.0%
なんともいえない・わからない・無回答	1.2%	-	2.5%

問17 あなたは、小沢一郎代表が率いる今の民主党が政権を担当する能力を持っていると思いますか

	全体	男性	女性
持っていると思う	34.7%	41.0%	28.4%
持っていないと思う	64.9%	58.6%	71.2%
なんともいえない・わからない・無回答	0.4%	0.4%	0.4%

問18 あなたは、政党が統一や分裂して新しい政党が生まれ、新しい協力関係をつくったりする「政治・政党の再編成」が今後行われることを期待しますか

	全体	男性	女性
期待する	49.5%	57.4%	41.6%
期待しない	49.9%	42.2%	57.6%
なんともいえない・わからない・無回答	0.6%	0.4%	0.8%

問 19 あなたは、日本の将来を考えると、とくに心配したり不安に思うことがありますか。次の中から5つ以内でお答えください

	全体	男性	女性
社会保障・福祉の水準低下	55.0%	54.1%	56.0%
高齢化と少子化	50.9%	47.1%	54.7%
地球環境・自然破壊	46.4%	40.6%	52.3%
ふくれる財政赤字	42.5%	46.3%	38.7%
犯罪の増加	37.4%	29.5%	45.3%
モラルの低下	34.3%	33.2%	35.4%
青少年の教育・育成	33.3%	29.1%	37.4%
官僚依存型の社会	28.3%	27.9%	28.8%

の体質			
国の安全保障	24.2%	21.3%	27.2%
政治の不安定・不信	23.0%	22.5%	23.5%
経済の国際競争力の低下	22.4%	25.0%	19.8%
景気の行方	22.4%	25.4%	19.3%
雇用の不安	19.7%	22.5%	16.9%
進まない行政改革	17.7%	19.3%	16.0%
エネルギー不安	12.7%	13.9%	11.5%
食糧危機	8.6%	10.7%	6.6%
なんともいえない・わからない・無回答	0.2%	0.4%	-
不明	3.1%	4.9%	1.2%

V 調査票

問1 あなたは、今の政治に満足していますか。
① 大いに満足 ③ どちらかといえば不満足
② どちらかといえば満足 ④ 全く不満足

問2 あなたは、安倍内閣を支持しますか。
① 支持する → 問3、5へ
② 支持しない → 問4、5へ

問3 (問2で「① 支持する」とお答えの方に)
支持する理由は何ですか。2つ以内で挙げてください。
① 自民党中心の内閣だから
② 自民党・公明党の連立内閣だから
③ 安倍晋三さんが首相だから
④ 首相の政治姿勢が好ましいから
⑤ 政策に期待できるから
⑥ ほかに適当な人がいないから
⑦ その他 ()

問4 (問2で「② 支持しない」とお答えの方に)
支持しない理由は何ですか。2つ以内で挙げてください。
① 自民党中心の内閣だから
② 自民党・公明党の連立内閣だから
③ 安倍晋三さんが首相だから
④ 首相の政治姿勢が好ましくないから
⑤ 政策に期待できないから
⑥ ほかに適当な人がいるから
⑦ その他 ()

問5 あなたは、安倍首相が掲げる「美しい国」づくりについて、どう受けとめますか。
① 高く評価する ③ あまり評価しない
② まあ評価する ④ まったく評価しない

問6 あなたは、閣僚の発言や政治資金などをめぐる責任問題で、安倍首相の指導力について、どう受けとめますか。
① 高く評価する ③ あまり評価しない
② まあ評価する ④ まったく評価しない

問7 あなたは、安倍内閣が進めてきた次のA～Fの内政・外交の課題について、どう受けとめていますか。該当する番号に○をお付けください。

		評価する	評価しない
A	教育基本法の改正	①	②
B	防衛庁から防衛省への昇格	①	②
C	自民党の郵政民営化反対派の復党	①	②
D	格差の是正の取りくみ	①	②
E	中国、韓国との外交関係	①	②
F	北朝鮮との問題処理	①	②

問8 あなたは、これから政治に力を入れてほしい重要な課題は何ですか。2つ以内で挙げてください。
① 教育改革 ⑥ 政治倫理
② 景気や雇用 ⑦ 外交や安全保障
③ 税金や財政改革 ⑧ 社会保障政策
④ 格差是正問題 ⑨ その他 ()
⑤ 憲法見直し ⑩ 特にない

問9 あなたは、今後の消費税の取り扱いについて、どのように受けとめていますか。

- ① できるかぎり早く引き上げに踏み切るべきだ
- ② 引き上げる必要はあるが、当面は控えるべきだ
- ③ 引き上げせずに、他の方策を進めるべきだ

問10 あなたは現在、日本の首相にはどのような能力、資質が一番必要だと思いますか。

- ① 清潔さ
- ② 政策立案能力
- ③ バランス感覚
- ④ リーダーシップ
- ⑤ 庶民感覚
- ⑥ 国民への説明能力
- ⑦ 人柄
- ⑧ その他 ()
- ⑨ 特にない

問11 あなたは、どの政党を支持しますか。

- ① 自民党
 - ② 民主党
 - ③ 公明党
 - ④ 共産党
 - ⑤ 社民党
 - ⑥ 国民新党
 - ⑦ 新党日本
 - ⑧ その他の政党 ()
 - ⑨ 支持する政党はない
- ①～⑧ → 問12、14へ
⑨ → 問13、14へ

問12 (問11で①～⑧とお答えの方に)

あなたは、支持する政党のどんな点を評価し、期待していますか。
次の中から2つ以内で挙げてください。

- ① 安定感・頼りがい
- ② 主義主張の一貫性
- ③ 政策の現実性
- ④ 保守的な姿勢
- ⑤ 革新的な姿勢
- ⑥ 中道的な姿勢
- ⑦ 党首の魅力
- ⑧ 開かれた党運営
- ⑨ 日本国憲法への姿勢
- ⑩ 清潔なイメージ
- ⑪ 長期的な視点
- ⑫ その他 ()

問13 (問11で「⑨ 支持する政党はない」とお答えの方に)

あなたが、どちらかといえば親しみを感じたり、場合によっては支持・投票したい政党はありますか。

- ① 自民党
- ② 民主党
- ③ 公明党
- ④ 共産党
- ⑤ 社民党
- ⑥ 国民新党
- ⑦ 新党日本
- ⑧ その他の政党 ()
- ⑨ そのような政党はない

(全員の方に)

問14 あなたは「支持政党なし(無党派)層」について、どのようにお考えですか。

次の中から2つ以内で挙げてください。

- ① 政治を不安定にさせている
- ② 自由に1票を行使している
- ③ 政治に対して無関心、無責任
- ④ 政治に関心の高い人が多い
- ⑤ 政治・政党への不満、不信の表れ
- ⑥ 選挙での波乱要素になっている
- ⑦ 政党の努力しだいで減っていく
- ⑧ 政治家個人中心の選挙が背景にある
- ⑨ 棄権が多く投票率を下げる一因
- ⑩ その他 ()

問15 あなたは、今年夏の参院選で議席を伸ばしてほしいのは、自民党と民主党のどちらですか。

- ① 自民党を中心に伸ばしてほしい
- ② 民主党を中心に伸ばしてほしい

問16 安倍首相が憲法見直しの是非を参院選の争点にする考えを表明しましたが、あなたはどうか受けとめていますか。

- ① 争点にすべきだ
- ② 争点にすべきでない

問17 あなたは、小沢一郎代表が率いる今の民主党が政権を担当する能力を持っていると思いますか。

- ① 持っていると思う
- ② 持っていないと思う

問18 あなたは、政党が統一や分裂して新しい政党が生まれたり、新しい協力関係をつくったりする「政治・政党の再編成」が今後行われることを期待しますか。
① 期待する ② 期待しない

問19 あなたは、日本の将来を考えると、とくに心配したり不安に思うことがありますか。次の中から5つ以内でお答えください。

- | | |
|----------------|-------------|
| ① 経済の国際競争力の低下 | ⑨ 景気の行方 |
| ② 国の安全保障 | ⑩ エネルギー不安 |
| ③ 社会保障・福祉の水準低下 | ⑪ 青少年の教育・育成 |
| ④ 政治の不安定・不信 | ⑫ 高齢化と少子化 |
| ⑤ ふくれる財政赤字 | ⑬ 地球環境・自然破壊 |
| ⑥ 進まない行政改革 | ⑭ モラルの低下 |
| ⑦ 官僚依存型の社会の体質 | ⑮ 食糧危機 |
| ⑧ 雇用の不安 | ⑯ 犯罪の増加 |

問20 あなたが日ごろ、政治、経済、社会の動きについて思っていることを、ご自由にお書きください。

<性別> ① 男性 ② 女性

<年代> ② 20代 ③ 30代 ④ 40代 ⑤ 50代 ⑥ 60代 ⑦ 70代以上
(※年代と合わせて、選択肢番号を付けております)

<職業> ① 農・林・漁業 ⑥ 商工・自営業
② 事務・技術系の勤め ⑦ 主婦
③ 現業系の勤め ⑧ 無職
④ サービス系の勤め ⑨ その他(具体的に)
⑤ 役員・管理職・自由業

<地域> ① 北信 ② 東信 ③ 中信 ④ 南信

<選挙区> ① 1区 ② 2区 ③ 3区 ④ 4区 ⑤ 5区

<結婚> ① 既婚 ② 未婚

<暮らしぶり> ① 上の上 ③ 中の上 ⑤ 下の上
② 上の下 ④ 中の下 ⑥ 下の下